

カン
臣
監

臣(目をみはる)・人(人)・皿(皿に水をたたえる)
皿に満たした水に人が顔をうつして、それを見つめる。

水かがみ(監の本義、あとの鑑にあたる)

上から見おろす 例 監視

部下を見張る 例 監督

カン
鑑

昔のかがみは金属を平らに磨いたものであった

金属のかがみ(鏡)

(自分を)みる 例 鑑賞・鑑識・鑑定

手本 例 龜鑑・殷鑑

カン
檻

囚人を監視するために入れて置く木の？

おり 例 檻車・檻送・獸檻

おりの格子

橋の手すり 例 欄檻

カン
艦

海上の戦闘のために防禦の艦を備えつけた舟

いくさぶね 例 戦艦・軍艦

ラン
濫

水かがみの水が外にこぼれ出る

あふれる 例 汎濫

度が過ぎる 例 濫用・濫造・濫読

注 よく乱用・乱造・乱読で代用しているが、これでは“乱暴”
“でたらめ”になってしまって“度が過ぎる”とはたいへんに違
ってしまう。

注 ランは監の変化、監の音もある。

ラン
藍

監という名の草。日本では？

あい

参考 この草を煮とかし煮つめて作った染料の色が“あい色”で
ある。藍汁をさらに煮つめると“あお(青)色”の染料ができ上がる。
それで『青は藍より出でて、藍よりも青し』ということわざがある。
弟子のほうが生よりりっぱになったことを表わしたことわざであ
る。『出藍のほまれ』とも言う。

問 次のことばの意味を考えよ。

一、鑑識 二、殷鑑 三、濫読 四、出藍

答 一、善悪・真偽・優劣などを見分けること。 二、殷鑑遠からずう
んぬんは、詩経大雅にある湯王の言。殷の艦(手本)はすぐ近い所
(前代の夏)にある。つまり、夏の桀王が暴政によって滅びたことを忘
れてはならないという意。夏は湯王によって滅ぼされた。 三、度の過
ぎた読書、読み過ぎ。 四、〔参考〕参照。